

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [生涯学習](#) | [歴史雑学](#) 8. ペリーが黒船でやって来た時の交渉は何語を使ったか？

[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)
[教育カリキュラム](#)
[日本国憲法](#)

歴史雑学 8. ペリーが黒船でやって来た時の交渉は何語を使ったか？

1853年、ペリーが4隻の黒船を率いて日本にやってきたのは、その後の日本の歴史を変える大事件でした。世界の激動をよそに太平の夢をむさぼっていたところ、いきなり強国アメリカの使節が武力を用いても日本を開国させる決意をもってやってきたのですから、幕府がうろたえたのも無理はありません。

政治的判断はともかくとして、まず困るのは言葉の問題です。外国との交渉に語学が大切なのは今も昔も変わりはありません。なにしろ、アメリカやイギリスとはそれまでほとんど没交渉だったのですから、英語を話せる人は当時ほとんどいませんでした。そこでペリー一行との会話は、間にオランダ語を話せる乗組員をたてて、オランダ語を話すというややこしいことをやったそうです。日本とアメリカとの最初の会話は、嘉永6年（1853年）6月3日、黒船上で浦賀奉行寄力・中島三朗助の通詞堀辰之助と、ペリーの副官コンティ大尉の通訳アルセ・ホイットマンとの間でオランダ語で行われました。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.